

## 背景

- 人々の生活をより良くする為に、ウェルビーイングの考え方を住宅に取り入れる動きが広がっている。
- ウェルビーイングの考え方において、特に睡眠・疲労回復の質を上げることは、生産性向上へも繋がることから最も注目されている。
- また、集合住宅においては防犯・セキュリティについての意識も更なる高まりを見せている。
- IoT家電等により、上記課題への対応に加え、多様化する家族構成・住まい方の変化にも対応する取り組みが広がっているが、実際の利用に関するデータ蓄積は不十分である。

## 目的

- 自社で推進中の居住型実験住宅において、IoT技術を活用したウェルビーイングに寄与するシステムを導入し、実際の生活におけるセンシングデータ・アンケート等によりその効果を検証する。
- 検証結果により、最高の睡眠に最適な住空間の実現を目指す。
- また、防犯・セキュリティシステムと再配達防止の両立を目指したシステムの実用性検証を行う。

## 実施体制

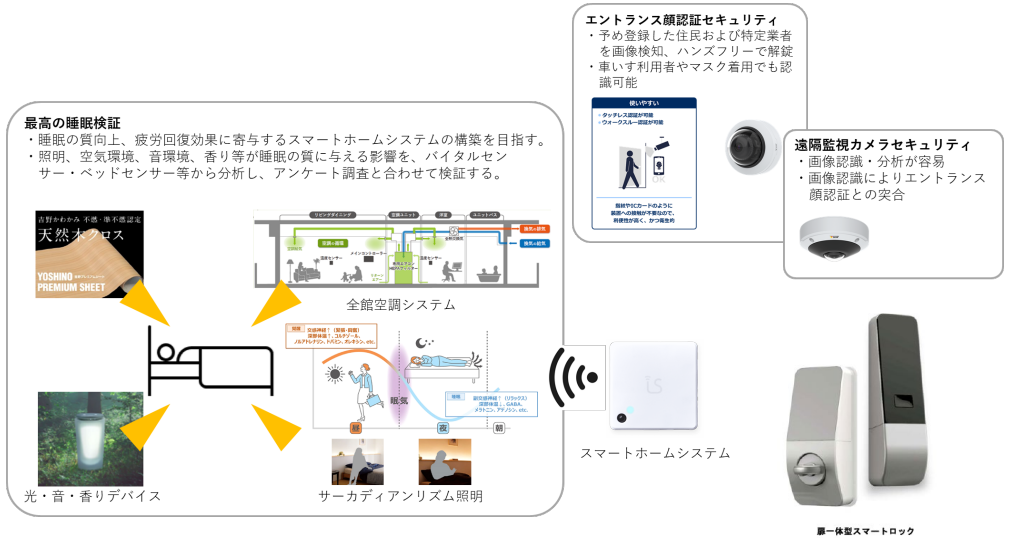
<事業提案者>

<システム構築・分析協力>

- (株)長谷エコーポレーション
- (株)NTT DXパートナー
- (株)長谷エリフォーム
- (株)ブレインスリープ

## IoT技術等の概要

- 照明・空調・香り等を制御するスマートホーム家電を、住戸内に設置するIoTハブと接続し、睡眠・疲労回復に影響を与える照明・空調・香り等の要素をサーカディアンリズムと連動した制御を行う。
- 顔認証カメラと遠隔監視カメラによる防犯システム。
- スマートロックを活用した、専有部宅配・生活サービス提案。



## 実証内容

- 照明・空調・香り等の要素が睡眠の質に与える影響をセンサーによる運動量その他バイタルデータと、アンケート結果により検証する。
- 顔認証カメラ・スマートロックを活用したシステムの実用性検証。

## 目標 (スケジュール)

- 2022年度: システム構築
- 2023年度: 検証・分析
- 2024年度: 最高の睡眠空間の提案、顔認証カメラ・スマートロックを活用したサービス提案